

『2023年 春季サイクリング大会 かながわシニアスポーツフェスタ 「相模川下り のんびりサイクリング」参加レポート (4/22 今回は県協会主催)』

県道 409 号 (相模川自転車道) は、国道 129 号の厚木市関口から国道 134 号の平塚市千石河岸に至る全長約 21km の自転車道 (自転車歩行者専用道路) です。現在、海老名市河原口から寒川町一之宮までの約 10km を「先行整備区間」と位置づけ、事業を実施しています。なお、平成 28 年 4 月に約 0.8km の供用を開始後、年々供用延長を伸ばし、令和 4 年 3 月時点においては、約 4.9km を供用しています。

今回の春季サイクリング大会「かながわシニアスポーツフェスタ」は、この 2025 年完成予定の「相模川自転車道さがみグリーンライン自転車道」製作過程を観るなど歴史の 1 ページを感じながら、のんびりサイクリングしようというものです。

今回のスポーツフェスタは海老名運動公園に 2023 年 4 月 22 日 (土曜日) 9 時 30 分に集合です。参加者は 18 名参加でした。予定通り 10 時出発しました。一行は圏央道の高架下にできた幅広い自転車道を進みます。

途中で寒川神社を参拝しました。参加者のリクエストもあり、昨年の大河ドラマでも注目された梶原景時の館跡も立ち寄りました。

その分、予定のコースより少し南に行き過ぎたので相模川を遡って神川橋まで戻り、右岸に渡るようになりました。

このコース変更の際、一人神川橋を渡らず、はぐれてしまいました。携帯で居場所確認したところ対岸にいて「下流の橋を渡るかどうか?」合流までの待ち時間に馬入のわたしの石碑の前で記念写真取って、一旦お開きとします。

一行は相模川を下り。予定通り 12 時半今回の終着地である平塚漁港の到着し、解散としました。

この後、魚漁師が経営するおいしい有名店の一つにも取り上げられる平塚漁港の居酒屋あぶさんと、10 月に開催する「ねんりんピック愛媛」の情報交換会も兼ねた有志による昼食会では、とても有意義な意見交換となりました。

なお、今回の春季サイクリング大会「かながわシニアスポーツフェスタ」は 2023 年に開催する「第 35 回全国健康福祉祭えひめ大会」の参加資格条件事業の 1 つとし、神奈川県との協賛とする大会の主旨、及び、実施方針をよく理解した者の中から「ねんりんピック愛媛」の応募基準に合致した上で、神奈川県サイクリング協会の幾つかの選考基準に全て満足した方の中から理事会にて神奈川県から 3 名、川崎市/横浜市/相模原市から各 2 名の計 9 名を県代表者として派遣するとしています。

参加資格の概要は、県、各市の在住者で、且つ、1964 年 4 月 1 日を含み、これより前に生まれた方です。



文：担当理事:若杉
写真：若杉、星野他

ブリーフィング時に、サイクル・ツーリズムの促進から「神奈川県スポーツ課」、シニアスポーツの普及から「かながわシニアスポーツフェスタ実行委員会」の担当課長も見学していただきました。市民への公益性と会員への共益性を兼ねたサイクリング活動を上手く協調しながら事業展開をしたいと思えます。

今回の参加者におかれましては、令和 5 年 4 月 1 日から努力義務化となった「ヘルメットの着用」について、ほぼ 100%の着用率でした。県協会の皆さんへは義務化であるため特にお示していませんでしたので「流石!! 経験豊富なサイクリスト諸氏」と感服しました。ブリーフィング時の挨拶でも良いタイミングなのでヘルメットについて「ツール・ド・フランスでの着用までの歴史や米国の事故研究者の考察事例」を交えてコラム調で触れさせていただきました。

星野

